

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	仏語第一		
英文授業科目名	Elementary French I		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	原 和之		
居室	西6-207		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hara@hc.uec.ac.jp	http://www.h7.dion.ne.jp/~sinkdeep/

【主題および達成目標】
フランス語文法の基本的なメカニズムを習得する。

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
<p>教科書：授業開始時に指示する。</p> <p>辞書：仏和辞典を必ず購入のこと。（和仏辞典はまだ不用）。中型の机上版（英語の学習辞典サイズのもの）という以外に特に条件はありませんが、辞書によっては巻末に動詞活用の変化形を索引にしたものがあり、初学者には使いやすいかもれません。なお、CD-ROM版や電子辞書もあります。</p> <p>初回の授業で仏和辞典の使い方を指導しますので、それまでに購入しておいてください。</p>

【授業内容とその進め方】
文法的な説明を中心にしつつ、フランスという国の紹介もまじえてゆきます。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

定期試験の素点を中心に、小テスト、課題、出席を考慮する。動詞の活用は特に重視する。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は授業の後、あるいは電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

言葉に関する知識は、一つの文化への関係を継続的なものとするためにぜひとも必要なものです。おそらくみなさんも将来、フランスに旅行したり、その文物にふれたりという機会があるでしょう。しかし一定の時間を、しかもある程度集中的にあてることの必要な語学の修得は、今を逃してしまうと将来多大な経済的かつ時間的な犠牲を払わないでは不可能になってしまいます。Now or neverの精神で新しい言語にチャレンジして下さい。

フランス語に接している時間をできるかぎり長くする(これは言語の習得には欠かせない条件の一つです)ためにも、ぜひコンスタントに出席して下さい。

また、教室に居る時間を100%活用するためにも、くれぐれも辞書は忘れぬこと。(オリエンテーションの回のあと、授業の初回到辞書の使い方を解説しますので、それまでに購入して下さい)

【その他】